

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

1175

広域観光連携事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	2	外国人観光客の誘致促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
	中事業		広域観光連携事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 観光課 谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	海外からの観光客誘致を図るとともに、広域的な観光地としての魅力向上を図る。		広域的な観光地としての魅力を向上させるため、周辺自治体や交通事業者、各種団体との連携を行う。			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		○紀の川みち広域観光連絡協議会との連携 ○関西国際空港内広域観光案内推進協議会との連携 ○和みわかやまキャンペーンとの連携 ○日本遺産活用推進協議会との連携	○紀の川みち広域観光連絡協議会との連携 ○関西国際空港内広域観光案内推進協議会との連携 ○和みわかやまキャンペーンとの連携 ○日本遺産活用推進協議会との連携	日本遺産活用推進協議会との連携、関西国際空港内観光案内所の運営、和みわかやまキャンペーンとの連携等	日本遺産活用推進協議会との連携、関西国際空港内観光案内所の運営、聖地リゾート！和歌山キャンペーンとの連携等	日本遺産活用推進協議会との連携、関西国際空港内観光案内所の運営、聖地リゾート！和歌山キャンペーンとの連携等

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	5,412	5,278	4,906	4,425	4,464	4,426	4,272	0	4,272	0
伸び率(%)	21.4%	19.9%	△9.3%	△16.2%	△9%	0%	△4.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	2,871	3,026	2,881	2,803	2,908	3,065	3,143	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,871	3,026	2,881	2,803	2,908	3,065	3,143	0	0
国庫支出金	2,222	2,222	2,314	2,155	2,190	1,791	2,109	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	368	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	3,190	3,056	2,592	1,902	2,274	2,635	2,163	0	4,272	0
所要人数(人)	正規職員	0.37	0.39	0.37	0.36	0.37	0.39	0.40	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	各種会議負担金2,791千円 観光事業負担金1,630千円									

3 目標及び実績

指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)
活動指標	県外向けイベント(大阪アトリウム広場イベント等)パンフレット配布数	枚	500	0	0%	500	0	0%
		枚	16,000	4,081	25.5%	16,000	4,000	25%
		枚	16,000	16,000	100%	16,000	16,000	100%
成果指標	年間観光客数(暦年)	千人	7,060	4,653	65.9%	7,090	5,629	79.4%
		千人	7,120	6,279	88.2%	7,150	7,180	100%
		千人	7,150	7,180	100%	7,180	7,180	100%
	外国人宿泊客数(暦年)	人	126,716	2,292	1.8%	128,459	9,992	7.8%
		人	130,202	74,110	56.9%	131,945	133,688	101.3%
		人	131,945	133,688	101.3%	133,688	133,688	100%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	観光ゲートウェイ化を目指す上で、各協議会などと連携しながら広域的な観光プロモーションを行い、滞在時間増に向けた取組を行うことで、国内外の観光誘客の増加を図る必要がある。
見直し・改善内容	インバウンドの回復や、大阪・関西万博開催など関西への来訪者が増加するチャンスを生かすべく、各協議会において、より効果的な広域連携ができるよう取り組んでいくとともに、周辺自治体や交通事業者、各種団体などと積極的に連携を図っていく。